

平成29（2017）年栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果概要

平成30（2018）年5月22日
観光交流課

1 調査の概要

- (1) 調査の目的 県内の観光客入込数・宿泊数を推計し、観光客の動向を把握するとともに、本県観光施策の基礎資料とする。
- (2) 調査対象期間 平成29（2017）年1月1日から12月31日までの1年間（暦年）
- (3) 調査の方法 市町村からの報告に基づき、県が分類集計した。

2 調査結果の概要

観光客入込数・宿泊数、外国人宿泊数の推移 [単位：千人、%]

※参考（東日本大震災前との比較）

区分	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H29-28	H29/28	H29-22 増減	H29/22 比
	2012	2013	2014	2015	2016	2017	増減	比		
入込数	82,343	85,425	87,115	90,525	90,923	92,768	1,845	102.0	755	108.9
宿泊数	7,600	7,807	7,875	8,277	8,120	8,360	239	102.9	37	104.6
外国人 宿泊数	118	126	146	181	210	222	11	105.5	—	—

※ 外国人宿泊数の調査対象はH22（2010）年までは8市町、H23（2011）年からは全市町。

(1) 観光客入込数

平成29（2017）年の観光客入込数は、9,276.8万人で、前年と比較して184.5万人の増（対前年比102.0%）となり、過去最高を更新した。

また、プレDC期間（4～6月）中の観光客入込数は、前年同期と比較して102.9万人の増（対前年比104.4%）となった。

- 1位 宇都宮市 1,498.9万人
2位 日光市 1,209.9万人
3位 那須塩原市 935.6万人

【プレDC期間（4～6月）中の観光客入込数の比較】（単位：千人、%）

H29(2017).4～6月期	H28(2016).4～6月期	増減	前年比
24,497	23,468	1,029	104.4

※ 参考 DC目標値：25,000千人

(2) 観光客宿泊数

平成29（2017）年の観光客宿泊数は、836.0万人で、前年と比較して23.9万人の増（対前年比102.9%）となり、3年連続で東日本大震災前の平成22（2010）年を超える宿泊数となった。

また、プレDC期間（4～6月）中の観光客宿泊数は、前年同期と比較して18.4万人の増（対前年比109.8%）となった。

- 1位 日光市 344.1万人
2位 那須町 171.9万人
3位 宇都宮市 159.2万人

【プレDC期間（4～6月）中の観光客宿泊数の比較】（単位：千人、%）

H29(2017).4～6月期	H28(2016).4～6月期	増減	前年比
2,067	1,883	184	109.8

※ 参考 DC目標値：2,200千人

(3) 外国人宿泊数

平成29（2017）年の外国人宿泊数は、22.2万人で、前年と比較して1.1万人の増（対前年比105.5%）となり、過去最高を更新した。

（市町村別）

1位	日光市	10.2万人
2位	宇都宮市	8.4万人
3位	那須町	1.5万人

（国地域別）

1位	台湾	4.4万人
2位	中国	2.3万人
3位	米国	1.8万人

※ DCは、デスティネーションキャンペーンの略称。

デスティネーションキャンペーンとは、JRグループ6社（北海道・東日本・東海・西日本・四国・九州）と地域（地方公共団体・住民・企業など）が協働で取り組む国内最大規模の観光キャンペーン。

プレDCとは、DCの1年前に実施する観光キャンペーン。